

内海界隈の古き良き
名所旧跡をめぐる

内海タイムトラベルマップ



内海周辺観光ポイントご紹介

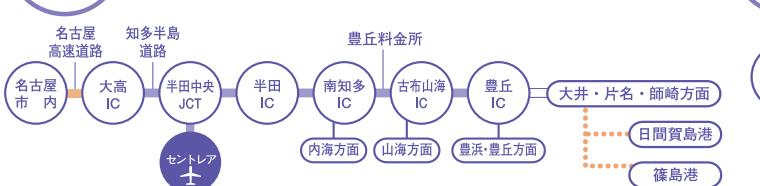


南知多アクセスガイド



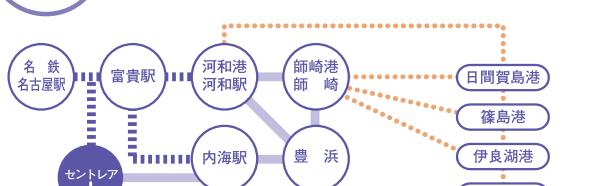
お車をご利用の場合

名古屋から南へ60km車で約1時間



公共交通機関をご利用の場合

名鉄知多新線または名鉄河和線をご利用下さい



G 内海スウェーツロード

こんな名前をつけたくな
る位お菓子屋さんが多い
です。江戸時代から豊か
な文化があった名残りでも
あり、また知多四国巡りの
巡礼者のおもてなしや觀
光客のお土産ものとして
生まれた老舗の和菓子屋
さんばかりです。地元は勿
論、觀光で内海を訪れる皆
さんに愛されています。

F 宝積院

現在の本堂は、天保13
年（1842）に海運
などで隆盛をきめ
た前野小平治家によ
り寄進改築された。
また墓地には明治時
代に三大毒婦と喧伝
された「まむしのお政」
の墓石もある。南知
多三十三観音めぐり
28番札所。

E 尾州廻船内海船船主 内田佐七家

内海南側の角は、江戸時代に内海船で栄えた船主たちの家
が密集していたところです。「住田屋さん」と呼ばれていた
内田佐七家との新家を始め内田七右衛門家、内田七郎兵
衛家中村与三治家などの家が立ち並んでいて、今も当時の
面影を残しています。内海船は最盛期には約100艘ほど
の船が所属しており、その中でも「内田
佐七家」は平成18
年12月から般公開
されています。毎月
第3日曜日午前10時～午後3時（内海
駅から徒歩15分）

D 慈光寺

慈光寺は、開山は天文8年（1539）といわれています。内田佐七家の三代目の実父豊吉（のち佐造）が江戸時代末に日本海交易の際、隠岐の島から持ち帰った「あごなし地蔵」がありま
す。お参りすると歯痛が治るという靈験あらたかな地蔵さんです。南知多三十三観音めぐり
29番札所。

C 泉蔵院

泉蔵院は、奈良時代初期の神龜年
間（724頃）創建と伝えられて
おり、境内の金比羅堂は前野小平
治が文政7年（1824）に寄進
したもので、みごとな建築であります。また「石灯籠に刻まれた文
字は江戸時代後期の儒学者賴山
陽の筆跡」といわれ、また奉納され
た絵馬や算額など寺宝も多く、知
多四国45番の札所になっています。

江戸の町並を感じる 内海タイムトラベルマップ

——「江戸時代を探しに」コース——

- 白砂の湯 → 唐人お吉の像 → 出生地跡 → 内海川周辺 → 吉良の仁吉
- 泉蔵院 ← 慈光寺 ← 宝積院 ← 内田佐七家 ← 大碇養家 ←

お吉は、天保12年（1841）内海川河口の家に生まれました。お吉が4歳の時、船大工であった父の仕事のため一家は伊豆の下田へ移り住みました。お吉は生涯を下田で送りましたが、晩年は酒に溺れ、明治23年お吉50歳のとき身を投げてその生を終えました。幕末の時代、國のためとはいえあまりに悲運であったお吉の生涯は後世に語り継がれています。お吉の生家の近くにある西岸寺には、お吉の生家の墓があり資料も保存されています。昭和61年11月に内海岸（現白砂の湯玄関前）に立派なお吉の碑が建ちました。



内海船

弁財船(べざいせん)の時代

江戸時代の尾州（尾張）には、常滑船・野間船・内海船・亀崎船など多くの廻船団があり、これらをまとめて尾州廻船といいます。このうち、内海を中心とした小野浦（美浜町）から大井に住んでいた船主の集団の持ち船を総称して「内海船」といいました。「戎講」という組合を組織し、菱垣廻船や樽廻船などに対抗しうる一大勢力でした。

郷土資料館…AM9:00～PM5:00（月曜休館）
TEL. 0569-62-2218
(内海駅より徒歩20分)

